

## さいたま市民医療センターにて突発性難聴や顔面麻痺 でご加療中の方へ

当院では突発性難聴・顔面麻痺の治療効果や治療抵抗因子を調べる研究のため2017年1月1日から2021年12月31日までに当院耳鼻咽喉科で突発性難聴や顔面神経麻痺と診断され入院加療を行った患者様の経過や検査結果を統計解析し今後の医療向上のための基礎研究を行います。

### 【研究課題】

入院加療を行った突発性難聴・顔面麻痺症例の検討（2021-11）

### 【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関　さいたま市民医療センター　診療科：耳鼻咽喉科

研究責任者　※研究責任者の氏名：山本大喜・所属：耳鼻咽喉科・職名：医師

担当業務　データ収集・匿名化・データ解析

### 【研究期間】

審査許可が下りてから5年間。

### 【対象となる方】

2017年1月1日から2021年12月31日の間に当院耳鼻咽喉科で突発性難聴や顔面神経麻痺と診断された入院加療を行った患者様。

### 【研究の意義】

突発性難聴や顔面麻痺の原因はいまだよく解明されていません。

過去のデータを評価することで病気の原因や治療に抵抗する原因を評価し

今後の治療効果向上に寄与する研究です。

### 【研究の目的】

突発性難聴や顔面麻痺の治療効果や治療抵抗性因子を調査します。

### 【研究の方法】

この研究は、さいたま市民医療センター倫理委員会の承認を受け実施するものです。

これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や聴力検査結果、画像検査、生理機能検査などのデータを収集して行う研究です。患者様に新たにご負担いただくことはありません。

### 【個人情報の保護】

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱います。

人体試料や情報・データ等は、解析する前に氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代

わりに新しく符号をつけ、どなたのものか分からないようにした上で、当研究室において耳鼻咽喉科山本（管理責任者）が、個人情報管理担当者のみ使用できるパスワードロックをかけたパソコンで厳重に保管します。ただし、必要な場合には、当研究室においてこの符号を元の氏名等に戻す操作を行い、結果をあなたにお知らせすることもできます。

この研究のためにご本人様あるいはご家族様のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで 2027 年 2 月 28 日までご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式で学会や論文発表されます。収集したデータは厳重な管理のもと、研究終了後5年間保存されます。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問い合わせがあれば開示いたしますので下記までご連絡ください。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

の研究に関する費用は、発生致しません。

本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。

2022 年 3 月 23 日

【問い合わせ先】

さいたま市民医療センター 耳鼻咽喉科

住所：埼玉県さいたま市西区島根 2 9 9 - 1

電話：048-626-0011